**蚕の成長過程**

蚕の成長過程は通常、およそ１年続く。しかしその多くの期間、卵は休眠している。春にふ化したとき、幼虫の長さはおよそ１ミリに過ぎない。しかしわずか数週間以内に、幼虫は、十分な発育を遂げた蚕へと変身し、１００％絹の繭を作る。繭で数日間過ごした後、蚕は最終的に蛾となり、交尾し、卵を産み、死亡する。

 幼虫は４回の脱皮を経験する。繭を作り始める頃には、蚕は当初の２５倍の大きさになり、１０，０００倍の重さに成長している。平均的な蚕は、長さ１，３００～１，５００ｍの一続きの絹を生み出す。そしてこの絹を使い、４８時間かけて繭を作る。ふ化したとき蚕はごく小さな蠕虫状であるが、たった１カ月余り後に、雌の蛾は繭から出て、交尾し、卵を産み、死亡する。そして、一年のサイクルが再び繰り返される。